

FAIRPLAY NEWS

フェアプレイで
日本を元気に
あくしゅ、あいさつ、ありがどう



他の国や選手に敬意を

ウサイン・ボルト

ジャマイカの陸上競技短距離選手

北京オリンピック	2008	2016	
100m 走	金	リオデジャネイロオリンピック	
200m 走	金	100m 走	金
4×100m リレー	金	200m 走	金
		4×100m リレー	金
2012	ロンドンオリンピック		
100m 走	金		
200m 走	金		
4×100m リレー	金		

人類最速の男に、ロンドンオリンピックの時、記録よりも、記憶に残る出来事があった

競技を終えたボルトに海外のテレビ局が取材に来た

ボルトは記者の質問に軽快に答えていたが、

ああ、いいよ

突然、質問をささげり、

ストップ！ちゃんと聴こう

会場では表彰式が行われ、アメリカの国歌が流れてきたのだ

ボルトは国歌が終わるまで真剣な表情で聴き入っていた

表彰されている選手をはじめ、すべての選手に対して敬意をしめしているのだから

そして、国歌が終わると、また、インタビューに答え始めた

この映像がメディアで流れると、世界中から賞賛の声が集まった

一流の選手は精神も一流

他の国や選手もリスペクトする姿が素晴らしい

速いからだけではないこの心が尊敬されるんだ

オリンピックへの道 **テコンドー** **まつ いりゅう や せんしゅ 松井隆弥選手**

あつ たたか さき **熱い戦いの先に、思いやりが生まれる。**

蹴り技のカッコよさに惹かれて、4歳の頃からテコンドーを始めた松井選手。華やかな技を身につけるために、地道な練習をコツコツと積み重ね、今年2月の全国大会でついに優勝を勝ち取りました。ずっと目指していた目標を叶えたのですが、他の選手から目標にされる立場になり、そのプレッシャーはとてつもないこと。だからこそ、これまで以上に頑張らなければと語ってくれました。フェアプレイについて尋ねると、熱く激しく戦った相手にも、試合後には「大丈夫？」と声を

かけるそうです。試合が終われば対戦相手も同じ競技をする仲間。格闘技こそフェアプレイの精神が必ず必要なかもしれませんね。

あしわざ こうぼう さくれつ 足技の攻防が炸裂！

かれば とまむ げ 華麗な飛び回し蹴り

わたしのフェアプレイ 廣瀬順子 (視覚障害者柔道)

みんなに支えられたから、強くなれた

小さい頃から柔道だけは続けてきて、私の自信になっていたのですが、19歳で突然目を患ってしまい、やめてしまいました。みんなの支えもあって、前向きな気持ちを取り戻すと、私にとって大切な柔道をもう一度やろうと決心したのです。復帰して感じたのが人の温かさ。監督やコーチは仕事が忙しくても、指導し

てくれます。多くの方々が協力して、練習を支えてくれます。そういったことをほんとうに実感したからでしょうか、高校時代は大事な試合で弱気になって負けてしまうこともあったのですが、パラリンピックの舞台では力を出し切り、銅メダルを獲得することができました。

1990年生まれ。小学5年から柔道を始め、高校時代はインターハイ出場を果たす。大学時代に病気が原因で視覚に障害をかかえ柔道から離れる。2012年に視覚障害者柔道を始め、リオデジャネイロパラリンピックで銅メダルに輝く。

※日本体育協会の広報誌「スポーツジャパン11・12月号」に詳しい記事を掲載しています。